

## 株式会社ティ・ディ・シー

～あらゆる材質・形状にRa1nm以下の面粗さを実現する超精密鏡面加工  
鏡面研磨技術の超精密化により、各種の要素において高精度なものづくりを実現する。半導体製造装置や精密機器の研究開発、高精度化に不可欠な技術として、世界18カ国との取引実績をもつ。



### 【製品説明】

TDCの基盤技術は、超精密鏡面加工です。

「磨く」ことは、ほんのわずかずつ除去する加工であり、スピードは遅いが、ほんのわずかずつ除去量を制御することによって、非常に高精度を作りこむことが可能となる。

「磨く」でイメージされる平滑性（ピカピカさ）に加えて、ナノレベルの精度で平坦性（反り・うねりの無さ）や寸法公差、角度公差、真円度（丸さ）、真球度（まん丸さ）などを作りこむことができる。

少しずつ除去することによるナノレベルの形状精度を、金属・セラミックス・結晶材料・樹脂など様々な材質に実現することが可能です。

### 【代表者メッセージ】

弊社は創業から65年、みやぎの地で精密なものづくりに励んでまいりました。研磨を用いた超精密加工を主力に、各分野の先端技術に関わる仕事をさせて頂いております。

お客様からの難しい課題をクリアすることが自社技術の向上につながって参りました。“『出来ない』を言わない”をモットーに、新しい技術を確立する為、日々精進に努めております。

この会社に関する情報

J-GoodTechページ

<https://jgoodtech.jp/web/page/corp/-/info/JC000000004354/appeal/jpn>

## 株式会社トクシキ

～合成技術、微粒子分散技術、配合技術を軸に事業展開～

「樹脂合成もできる分散加工メーカー」による機能性コーティング剤をご提案。機能性塗料・インキをはじめ、機能性コート剤、合成樹脂・オリゴマー、LCDカラーフィルター用着色剤を製造、販売している。これまで蓄積した知見を生かし、「合成」「微粒子分散」「配合」の3技術をコアに事業展開している。



### 【製品説明】

自己修復塗料：当社のウレタンアクリレート合成技術と独自の塗料配合技術により、曲げて割れにくく、伸びと傷修復性に優れたトップコート剤。油性マジックを弾く汚染防止タイプや、耐光性に優れる熱硬化タイプ、乾燥工程不要の無溶剤タイプや指紋が見えにくいマット（艶消し）タイプ、耐スチールウール性に特化した耐磨耗タイプ、修復性、硬さ、伸びのバランスをとった滑性タイプなど。用途としては、

- ①光学フィルム、加飾フィルム、建装材フィルム
- ②モバイル・家電製品等のプラスチック成型品への塗装
- ③ガラス製品、日用品、革製品等への塗装など特徴ある樹脂を設計、量産化する技術。

### 【代表者メッセージ】

既存製品の枠にとらわれることなく、「合成」、「分散」をキーワードに保有する技術や設備を活かして様々なサービスを提供します。

カタログに記載しておりますコーティング剤や塗料製品のラインナップは一例です。このラインナップを叩き台にお客様のアイデアをいただき、オリジナル製品を作り上げることが可能です。

ご提供できるサービスにつきましては訪問させていただき、ご説明いたします。是非、一度お問い合わせください。

この会社に関する情報

J-GoodTechページ

<https://jgoodtech.jp/web/page/corp/-/info/JC000000001022/appeal/jpn>

## 帝国イオン株式会社

～ナノ研磨加工など新たなめっき技術を提案～

【粉体めっき】めっきとナノテクノロジーの応用により、大量生産が難しかった球状セラミック粒子、薄膜フィラー、ポリマー材質や粒子形状に対しても、独自めっきプロセスを確立しました。

この技術は、薄膜めっきで完全被服が出来る事や、粒子サイズ10 $\mu$ m以下の超微粒子へのめっきを可能にするものです。また、めっき皮膜中のリン濃度を制御する事で磁性、非磁性品が可能になりました。



### 【製品説明】

粉体めっき

セラミックからポリマーまであらゆる薄膜フィラーにめっきが出来る量産プロセスを開発。

薄膜フィラーと金属の特性を併せ持っためっきフィラーは金属塗料や抗菌、触媒、潤滑、導電、電磁波シールドなどの機能を製品に付与する事が出来ます。

- 1.ポリマー粒子とめっき金属の特性を持った材料は、導電性粒子や導電ペースト材料に利用されています。
- 2.球状セラミック粒子は、化学的安定性、耐熱性、熱伝導性、絶縁性、硬度などが優れた特性を持つ事から、めっきをする事で、放熱材料や潤滑材料、電磁波シールド、電磁波吸収、導電ペーストなどのフィラーとして様々な用途に利用頂けます。

### 【代表者メッセージ】

当社は、1965年に創業し下請製造業をしています。2006年から事業を承継し3ヶ年毎に事業計画を立て社員一丸となって売上を伸ばして来ました。しかし、今後ますます量産品は海外生産にシフトされ、また、国内市場は、物を消費する世代が年々縮小することから量産の市場が縮小し採算が合わなくなって来ます。このため、従来のめっき技術を積極的に見直し量産技術だけでなく、高付加価値が創造できる新めっき技術で、環境、品質、独自性を求められている企業様と積極的に新製品開発を進めさせて頂きメイドイン大阪めっきを展開したいと考えております。

この会社に関する情報

J-GoodTechページ

<https://jgoodtech.jp/web/page/corp/-/info/JC000000000567/appeal/jpn>